



発刊にあたって

仙台南地区租税教育推進協議会長
山元町教育委員会
教育長 森 憲 一

仙台南地区租税教育推進協議会の主な事業が、本年度の締めくくりとして大震災後3年ぶりに開催されました「租税教育に関する研究発表会」で見事に復活を成し遂げることができましたことに、関係者の皆様方に心より御礼を申し上げます。

あの震災は、仙台南地区租税教育推進協議会の2市2町にも甚大な被害をもたらしました。人的被害数、流出及び全半壊等の家屋被害数、その外ライフラインや産業基盤等の被害状況は凄まじい限りでした。3年を経過した現在も、多くの方々が応急仮設住宅に身を寄せて不自由な生活をされている状況ですが、その後、至るところで様々な復旧・復興事業が展開され、少しずつ復興の槌音も響いてきているのも確かなところではあります。

そのような中、昨年11月13日(水)に山元町中央公民館において「租税教育に関する研究発表会」が開催されました。税金の役割と必要性の理解や、租税への興味・関心を高めさせる指導の工夫などを研究主題として、1年ほどかけて児童生徒の意識調査等を基に実態を把握し、さらに税理士や税務署の方々の協力を得ながら租税教室を開催するなど、果敢にテーマに迫る授業が展開されてきたものです。

特に、今回の発表の中には、町の復興に関する取り組みをとおして、復興のために税金をどのように活用するかという視点で考えさせるなど、今後若い世代が復興へ取り組む上で、これからの地域を担う人材の育成を図ることなども意識化されており、内容的にも広がりや深まりのある実践報告がなされたところではあります。これらは、租税教育に関する関心と発表内容の質の高さは、3年前と少しも変わっていないことを実感として受け止めることができました。まさに仙台南地区の小・中学校の租税教育推進の底力を示していただいたものと思います。

本書には、4校の素晴らしい実践活動が掲載されておりますので、今後租税教育に関する指導資料として大いに活用していただければ幸いです。

結びに、今回の発刊に当たりましては、ご指導くださいました4校の先生方のご尽力を始め、仙台南税務署の皆様のご配慮とお力添え、そして多くの税務関係者の方々のご支援に心から感謝を申し上げ、挨拶といたします。

平成26年3月